

位置図（広域図）

1/2500（グーグルマップの場合は縮尺 50m）程度の航空写真の地図を使用し、設置場所を表記する。設置場所の文字を赤枠で囲い、指定する設置場所を明示する。表題には、位置図と記載しカッコ内は設置場所の地番すべてを記入する。

設置場所の位置と設置場所の範囲を地番にて確認する書類

【記入例】

位置図（玖島 1 丁目 25-0・3）



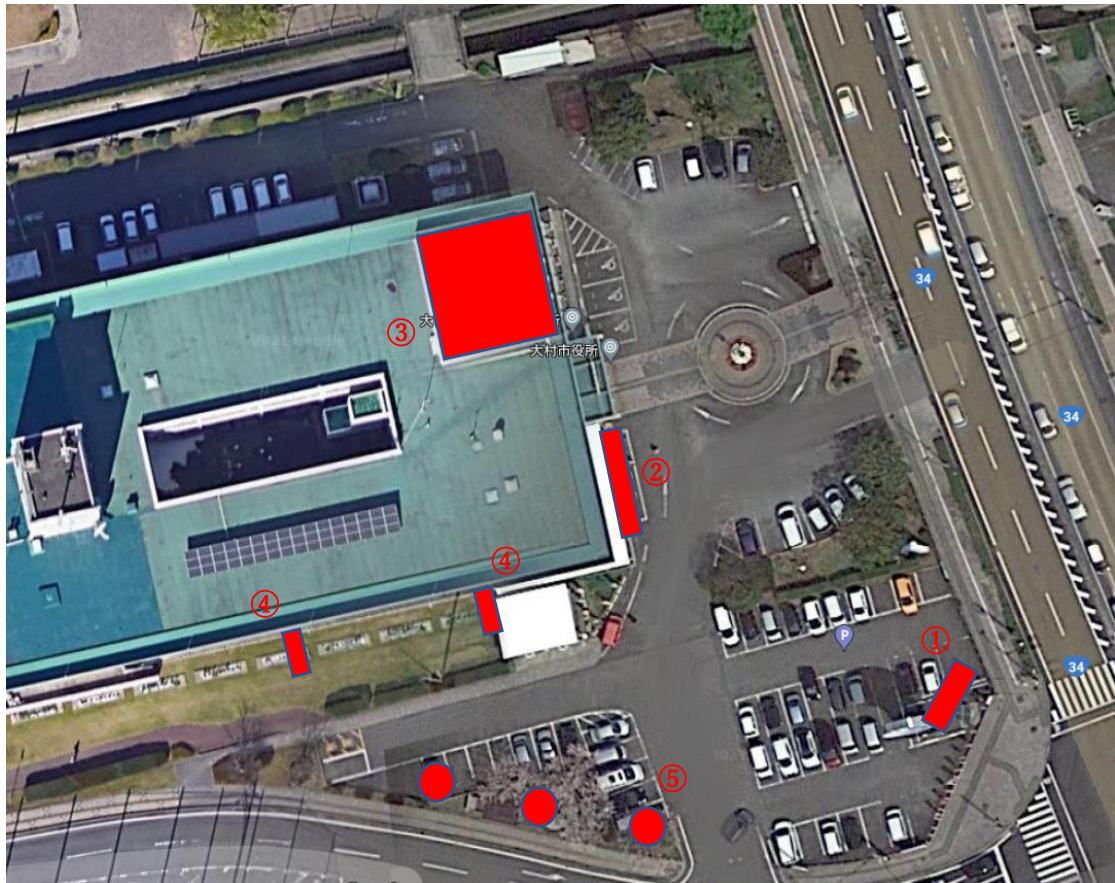
配置図（平面図）

1/250～1/500（グーグルマップの場合は、縮尺 5～10m）の航空写真地図を使用し、屋外広告物の設置場所、設置方向などの情報が判別できるように表記する。図形にて範囲を示し、番号を付して申請書裏面と符合するように表記する。

平面図に、屋外広告物の配置状況を記載し、敷地と地番境界線の位置関係を明示する。

【記入例】

配置図（平面図）

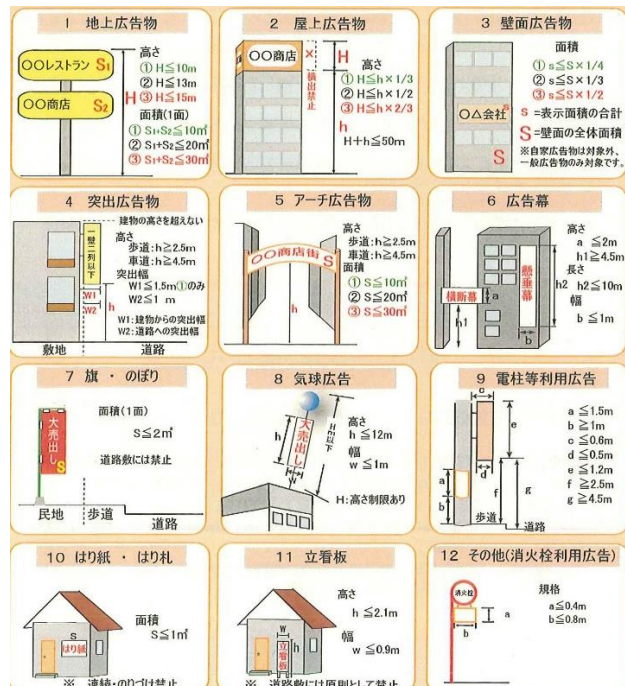


<例えば、次の広告物を表示する場合>

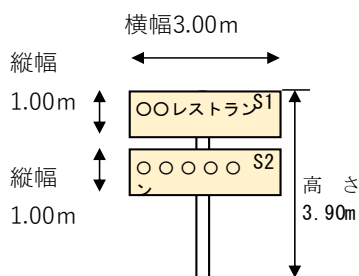
- ①地上広告物（1個、2面（両面））
- ②壁面広告物（1個、1面）
- ③屋上広告物（1個、3面）
- ④突出広告物（2個、1面（片面））
- ⑤旗・のぼり（3本）

構造図（立面図）

広告物個別の基準に沿って、構造物のスケール、寸法及び広告物の材質を表示する。
次の個別基準を審査するために必要です。

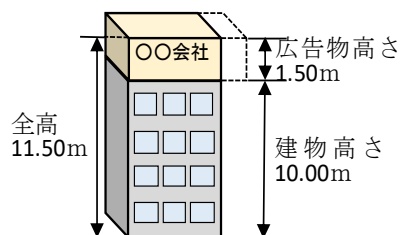


地上広告物【記入例】



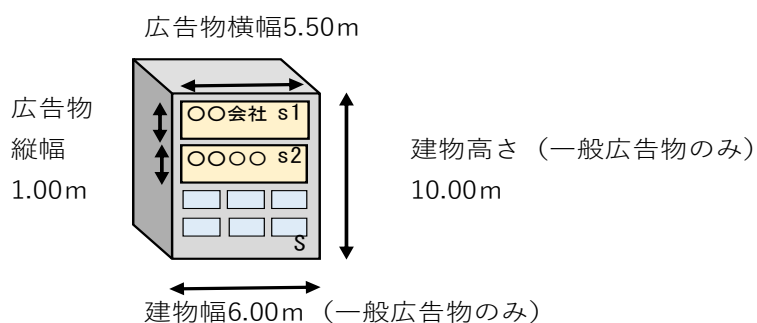
材質：鉄骨、アルミニウム

屋上広告物【記入例】



材質：鉄骨、鉄板

壁面広告物【記入例】



材質：プラスチック

意匠図

屋外広告物について、スケールと寸法を表示すること。

色彩基準の算定のため、背景が異なる部分のスケールと寸法を表記してください。

アイテム（《例》記号bの“屋外広告物募集中”）であった場合も、色抜き文字表示の場合は、背景色算定対象となる。

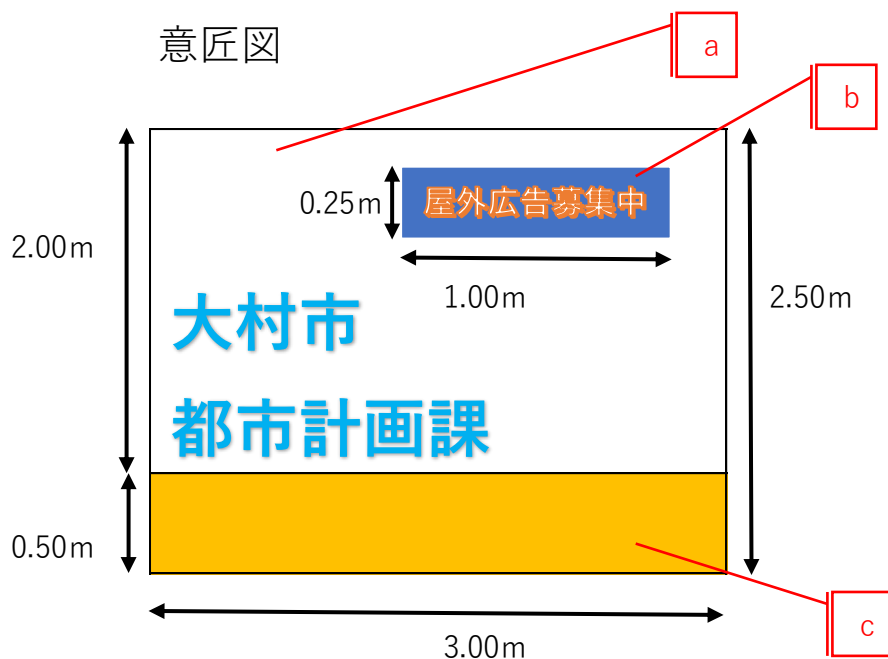
地色が写真、絵画、デジタル、透明の場合は、基準はありません。その際には、マンセル値に地色の状態を記載（例；写真）と記載ください。

文字色は算定対象とはなりません。

各広告物が色彩基準に適合する色を 2/3 以上使用すること。

どの意匠図かわかるように裏面の番号にて明示すること（例：意匠図①）

意匠図【記入例】



マンセル値

地色	記号	マンセル値
	a	N9.0
	b	7.5PB4/12
	c	10YR7.5/14

設置場所状況写真

設置場所付近の状況写真に設置予定屋外広告物を記入すること。

設置場所付近写真【記入例】

設置場所付近写真

